

お取引先関係各位

加工料金の値上げのお願い

現在、世界的な原材料急騰を背景として、電気やガスなど、エネルギー価格が大幅に値上がりしており、加えて、染料や薬品、樹脂なども大幅に値上がりしております。特に染色業界にとって重要な苛性ソーダの値上げは著しく、既に、新型コロナの影響により各社の経営状態が著しく毀損している中であって、更に各社の経営を圧迫している状況にあります。

このような中、令和3年11月2日経済産業大臣から「下請事業者から価格交渉の申出があった場合には積極的に応じ、取引対価は原材料価格・エネルギーコストの上昇分を考慮した上で、十分に協議し決定する」など、方法と単価の両面において適切な価格決定がなされるよう要請があり、「一方的な価格設定などの買いたたきや減額など、下請代金法による違法行為が認められた場合には、公正取引委員会とも連携しつつ、厳正に対処する」ことも示されております。

また、令和3年11月8日の新しい資本主義実現会議による緊急提言では、民間部門における中長期も含めた分配強化に向けた支援として「中小企業の現場の声を直接聴取することにより、下請取引に対する監督を強化する」ことも示されました。

各流通段階におかれましても大変厳しい状況に置かれているかと存じますが、何卒、このような現状をご理解いただき、業界各社による値上げの要請に応じていただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和3年11月22日

一般社団法人日本染色協会
会長 八代 芳明